

県立大“いつでも青春キャンパス®”

シニア大学生4期生 **vol.3** キャンパスライフ報告

自宅畑の土分析

須磨さん、生育不足の原因探る

シニア大学生の須磨重孝さん(68)は生物環境科学科の佐藤孝教授(土壌学)の協力の下、自宅の畑の土の性質などについて調査を始めました。敷地内のハウスで今夏にエダマメを育てようとしたところ、同じ品種を植えたにもかかわらず、ある区画だけ生育が悪かったことから、原因の調査を始めました。初回調査では専用機器を用いて土の水分量や硬さなどを測定。「数値は問題なさそうだから、病気が原因かな」と佐藤教授。問題の土とエダマメを採取し、今後は実験室で窒素やリンの含有量や、ウイルスのDNA検査などに取り組みます。



し、今後は実験室で窒素やリンの含有量や、ウイルスのDNA検査などに取り組みます。

◀ 佐藤教授の説明に耳を傾ける須磨さん(右)

「いつでも青春キャンパス®」は選考を経た65歳以上の県民が1年間勉強や研究に取り組める新プログラムです。
過去の取り組みはこちらから

